

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 28 日

事業所名 晴る日 藤田事業所

保護者等数(児童数)

回収数 20

割合 70 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	2	0	1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2	0	4	・人数はわかりませんが専門的に対応してくれている。	・わかりやすくお伝えしていきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	2	0	3		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	2	0	0	・定期的に作成してくれている。	・継続していきます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	0	・いろいろと考えてくださり楽しく参加できている。・公園やおでかけもある。	・継続していきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	4	2	6	・夏祭りなど家族や兄弟でも参加したい。	・安全第一に考えたいうえで、出来ることをしていきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	3	0	0	・不明な事を聞くとかわりやすく説明して下さる。・契約時にしていただいた。	・継続していきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	2	0	0	・日々様子を教えてくださり、こちらの話も聞いてくださる。・帰りの送りの時にもその日の様子を教えてくださる。	・継続していきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	2	0	0	・面談が出来なくても助言などいただいている。	・継続していきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	3	1	1	・茶話会を企画して下さっている。	・普段できないような楽しい経験をしていただけるよう企画していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	1	0	2	・苦情はないが、対応してほしいことなど相談したら迅速に対応してくださり、お返事をもらっている。	・継続していきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	3	0	0	・連絡帳や、送迎時に伝達して下さる。	・継続していきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	0	0	2	・定期的におたよりを配布していただいたり、活動中の写真を送っていただいている。	・継続していきます。
14	個人情報に十分注意しているか	18	0	0	2			
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	2	0	0	・緊急避難場所や引き渡し場所のおたよりをいただいている。	・継続していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	3	0	3	・避難訓練をしてくださり非常食を食べてみたりいろいろしてくれている。	・継続していきます。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1	0	0	・とても楽しみにしている。・行くのを嫌がる様子はないので、楽しく利用できていると思う。	・それが一番うれしいです。
	18	事業所の支援に満足しているか	19	1	0	0	・とても満足している。・別料金でも将来的のために留い事してもらえたらと思う。	・チャレンジタイムで将来につながることを提供させていただいています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0	保護者様から情報を共有させてもらっている。	その情報を、晴る日全体でも共有できるように活用している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	2		まだそのような事例がないので、情報提供できる準備はしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	1	長期休みには、児童館などへのお出かけをすることがある。	人数調整をして、安全と判断した場合のみ出かける事もある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	2	こども支援部会へ参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	SNSでつながり、細かく情報共有ができています。	日頃の様子を写真で提供し、喜んでいただいています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	1			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10	0	保護者とスタッフとでの茶話会を開催している。	他の保護者の方とおしゃべりすることで、日ごろのストレスを和らげ楽しんでいただいています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	事業所からのおたよりを発行し、行事などのお知らせをしている。	長期休みのお昼のメニューや、活動の様子などもわかりやすくお伝えしている。
	35	個人情報に十分注意している	10	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	意思伝達のためのツールは、個人によって使い分けをしている。	視覚的な配慮も個人によって違うので、家庭や学校の様子も詳しく聞いている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	9	1		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	委員会を設置し、避難訓練を行っている。	避難訓練を計画し、活動の様子をおたよりでお伝えしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	指針と共に、情報共有をしている。	年間計画を立て、研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	0	指針と共に、情報共有をしている。	年間計画を立て、研修を実施している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	2	アレルギーのある児童さんの表を作っている。	すぐに確認できるようファイルしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0		